

下表は長崎新聞（2022 年 3 月 6 日）に掲載された、県内高校の運動部員数の推移に関する資料を示したものです。

県高体連加盟・登録数（全日制、野球は非加盟）

※野球はマネジャー含む

	2003 年度			2020 年度		
	男	女	計	男	女	計
陸上	78 校 1336 人	66 校 746 人	2082 人	59 校 1077 人	56 校 770 人	1847 人
体操（新体操含む）	9 校 67 人	13 校 81 人	148 人	4 校 14 人	9 校 54 人	68 人
水泳（水球含む）	23 校 186 人	21 校 125 人	311 人	22 校 251 人	18 校 141 人	392 人
バスケットボール	63 校 1613 人	58 校 1255 人	2868 人	54 校 1238 人	52 校 996 人	2234 人
バレーボール	69 校 1140 人	74 校 1479 人	2619 人	39 校 768 人	57 校 1003 人	1771 人
卓球	61 校 893 人	43 校 337 人	1230 人	53 校 632 人	48 校 313 人	945 人
ソフトテニス	49 校 1310 人	60 校 1109 人	2419 人	41 校 1041 人	49 校 642 人	1683 人
ハンドボール	16 校 353 人	16 校 260 人	613 人	13 校 293 人	13 校 223 人	516 人
サッカー	61 校 2321 人		2321 人	54 校 2425 人	5 校 128 人	2553 人
ラグビー	28 校 776 人		776 人	22 校 586 人		586 人
バドミントン	37 校 698 人	47 校 896 人	1594 人	43 校 739 人	54 校 837 人	1576 人
ソフトボール	9 校 156 人	19 校 320 人	476 人	5 校 106 人	14 校 255 人	361 人
相撲	3 校 26 人		26 人	4 校 31 人		31 人
柔道	51 校 588 人	26 校 135 人	723 人	28 校 238 人	19 校 92 人	330 人
ボート	4 校 69 人	3 校 61 人	130 人	3 校 72 人	3 校 47 人	119 人
剣道	53 校 652 人	47 校 423 人	1075 人	37 校 328 人	30 校 202 人	530 人
レスリング	4 校 75 人		75 人	4 校 32 人	3 校 5 人	37 人
弓道	27 校 585 人	31 校 698 人	1283 人	28 校 513 人	33 校 575 人	1088 人
テニス	27 校 919 人	25 校 399 人	1318 人	23 校 523 人	21 校 258 人	781 人
登山	8 校 98 人	5 校 26 人	124 人	2 校 41 人	2 校 31 人	72 人
自転車	1 校 1 人		1 人	1 校 21 人	1 校 1 人	22 人
ボクシング	4 校 90 人		90 人	3 校 15 人		15 人
ホッケー	2 校 43 人	2 校 54 人	97 人	2 校 48 人	1 校 27 人	75 人
重量挙げ	4 校 62 人		62 人	2 校 60 人	2 校 15 人	75 人
ヨット	3 校 26 人		26 人	2 校 8 人	3 校 9 人	17 人
フェンシング	3 校 28 人	2 校 19 人	47 人	3 校 36 人	3 校 38 人	74 人
空手	17 校 205 人	16 校 136 人	341 人	7 校 62 人	8 校 48 人	110 人
アーチェリー	2 校 26 人	2 校 20 人	46 人	2 校 36 人	3 校 12 人	48 人
なぎなた		2 校 21 人	21 人		1 校 17 人	17 人
カヌー	3 校 46 人	2 校 6 人	52 人	3 校 67 人	3 校 32 人	99 人
少林寺拳法	2014 年度から正式競技			1 校 12 人		12 人
ライフル射撃	4 校 131 人	3 校 44 人	175 人	4 校 95 人	4 校 55 人	150 人
野球（硬式、軟式）	2071 人			1993 人		
合計	723 校 1 万 4519 人	583 校 8650 人	2 万 5240 人	568 校 1 万 1408 人	515 校 6826 人	2 万 227 人
県内の高校生生徒数の合計	5 万 2371 人			3 万 5407 人		

全国的な少子化に歯止めがかからない中、高校の運動部員数も減少傾向にある。長崎県高体連と高野連に加盟する生徒数（全日制）も、2020 年度と長崎ゆめ総体（インターハイ）が開かれた 03 年度を比べると、全体で約 5 千人減少。一方で県全体の生徒数もこの 18 年間で約 1 万 7 千人減っており、運動部活動の加入率自体は約 9%（2003 年度 48%、2020 年度 57%）上がっている。（記事より引用）

問1 この表にある人数の推移から読み取れることを考えてみましょう。そして、そのなかで最もあなたが関心をもった内容を 60 字以内で記述し、なぜそのようなことになっているのかについて 400 字以内で説明しなさい。

問2 現在、日本では「部活動の地域移行」が議論されています。その内容について調べた上で、高校の部活動はどのような形が望ましいと考えますか。あなたの考えを理由も含めて 800 字以内で論述しなさい。

受験番号	* 記入不要	名 前	
------	--------	-----	--

問1

[illegible]

問1

[illegible]

問2

[illegible]